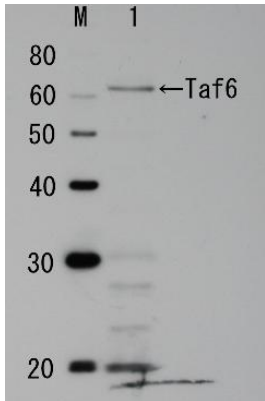


抗 Taf6 (*S. cerevisiae*) 抗体, ウサギ抗血清

商品コード	62-013
容量	100 µl
保存	-20 °C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.1 % アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	組換え体 His-tag 付 Taf6 タンパク質 (N 末端 1-200 aa)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	出芽酵母 Taf6 タンパク質
アプリケーション	ウェスタンブロット (1/1,000-1/5,000)
背景	基本転写因子 TFIID は、真核生物の遺伝子発現調節において中心的な役割を果たすことが知られており、TATA ボックス結合タンパク質 (TBP) と 14 種類の TBP 随伴タンパク質 (TAF) から成る巨大なタンパク質複合体である。TFIID は、転写開始点近傍に存在する各種のコアプロモーターエレメントを直接認識して結合し、他の基本転写因子群が集まるための足場を形成するとともに、転写調節因子に由来する転写活性化シグナルを RNA ポリメラーゼ II に伝達する役割を持つとされている。Taf6p は TFIID サブユニットの一つであり、出芽酵母の場合、516 個のアミノ酸残基 (aa) から構成される。また Taf6p は TFIID と重複した機能を持つとされるヒストンアセチラーゼ複合体 SAGA のサブユニットにもなっている。このタンパク質は内部にヒストンフォールドを持ち、Taf4p, Taf9p, Taf12p とともに TAF 八量体を形成する。
Data Link	SGD TAF6/YGL112C
画像	 図. ウェスタンブロット法による出芽酵母粗抽出液中の内在性 Taf6 タンパク質の検出 M: タンパク質サイズマーカー (kDa) 1: 出芽酵母細胞抽出液 抗血清は 5,000 倍希釈して使用 Taf6 タンパク質の分子質量は 60 kDa
文献	本抗体は以下の論文に記載され、使われている。 Takahata S et al "Autonomous function of the amino-terminal inhibitory domain of TAF1 intrancriptional regulation." Mol Cell Biol 24: 3089-3099 (2004) PMID: 15060133 WB
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	